日刊
常磐新聞
發行所常磐新聞社　福島縣平町南町五九
發行人　伊藤隆次　福島縣小名濱町古港一
十一月十五日夕刊
一ヶ月　三十錢
一部　二錢
廣告料　一行五十錢
場所指定　十錢增
日曜祭日翌日休刊

迷宮に入つた區長殺し
事件の光明はこの女？
同村から又もや！
七名引致調査中

三坂村區長殺し事件は既に一ヶ月を經過し有力なる被疑者として平署に留置中の阿部清、白石鶴治、阿部長門の三名で肝腎な雜害の點になると頑強にも知らぬ存せぬの一點張りで何等物的証據類の擧がらない爲め、當局も思ひ切つて追究が出來ず容疑者を留置のまゝ司法係も根比べの形で事件が迷宮に入つたと傳へられつゝあつたが、昨十四日に至り齋藤司法主任以下再び三坂の現場に急行、同日午後七名（内女二名）を引致し捜査の前途に一大光明を見出したものゝ如く頗る緊張して居る

平署では今回引致した七名は參考召換の程度であると語つて居るが、此の七名の召換によつて事件は急展開するものと豫想されてゐる

禁漁區侵犯に注意
底曳機船の大事の秋
久之濱豊間海區より頻々と抗議が來る

底曳機船の制限？にて漁業家の心膽を寒からしめた農林省の處置も魚具蕃殖に中心を置くもので、其點は漁業家としても異存がない筈だが其處に法規と相反するため底曳船の中止迄も見なければならぬ破目の漁業家もある爲め江名漁業組合などは就中、對策に腐心の結果正規底曳船、非正規底曳船にて許可申請中のものが目下出漁中なれど、禁漁區侵入のために久之濱豊間方部より毎日抗議を申出られ漁業組合としても今一番大事の時に違反などが出せばと苦慮しつゝある。

農林省にては函館に本據を置き監守船を派し東京間を警戒中でもあり漁業家の大なる關心を要する時期である。

違反處罪を摘記すれば

正規底引船は

初犯五十圓二犯百圓三犯は沒收、外に司法處分も受ける、許可申請中のものは非公式の出漁のため司法處分のみなれど二千圓の罰金とこれ迄の漁獲高を推定して追懲金を取られる

故にこの際違反等の起さない樣御互の爲め充分注意すべき事だと江名漁業組合主事は嘆聲を洩して居つた

水飢饉の江名町
引水道申込良好
既に一百五十個の申込

水飢饉に苦しき體驗を味ふた江名町は水道完成の聲に旱天に雨を得た以上の悦びにて申込者は豫想三百二十個の處、大體五百個の申込ある迄に順調にて目下契約後のも百五十個あり、この家庭は殆ど職業上缺く事の出來ないもので一般家庭も逐次申込殺倒の有樣なれば江名町水道は豫想以上の實績を擧げ江名町唯一の財源となる日も眼前に彷彿たらしむるものがある

江名青年學校
土浦方面に修學旅行
振旗校長引茲の下に

江名青年學校男女擧生百余名は振旗校長引率の下に茨城縣土浦方面に十四日見學の爲め旅行

昭和人絹會社より
大量澤庵の注文
小名濱農産加工場へ

十五日昭和人絹會社より小名濱町役場に電話にて大量の澤庵の注文があつた、小野町長は常に農産が水産の爲めに押され萎非衰退を辿るに鑑み農産品加工に盡力し、販路等に就ても怠りなく紹介の勞を致しつゝあつたが今回の昭和人絹の注文も其結果で今回は二千貫の取引なるも將來は多角的に販路の開拓が出來るであらうと篤農家は躍動の氣を見せてゐる

あッ！危險
江名濱醫院に小石の雨
屋根瓦は點々と破壞され
硝子二十數枚を破る

江名町折戸埋立地に建設された江名濱醫院に昨十四日午後二時頃石塊の雨が降つて屋根瓦は蜂の巣の如くに點々と破壞され、診療所の硝子戸は二十數枚突拔かれた、原因は目下埋立の折戸地先用石塊採取の爲め聳ゆる山崩しのダイナマイトを掛けつゝあるが、當日午後二時は尖端の醫院に近き場所なりし爲め其災厄を蒙つたもので損害は取調中なるも經少にて醫療器具一ケと硝子戸屋根瓦のみにて人蓄には何等異狀はなかつた

サクラ寫眞館の
高價なレンズ窃取
背廣着の怪盜

十四日午前八時半頃平驛前サクラ寫眞館諸橋嘉吉方へ洋服の五十格好の紳士が寫眞の復寫を依頼に來たと裝ひ一寸の隙に撮影用レンズ（價格百五十圓）窃取逃走したので平署に屆け出た目下犯人捜査中

鹿島村の運動

平小鐵道の路線決定を前に鹿島村長等は明十六日上京鐵道省を訪ね鹿島村經由の最後陳情をなし又湯本町では去る十一日町會を開き之れ又最後の運動方法に付き協議した。

赤十字デー
小名小學校生徒の社界奉仕とポスター展覽會

明十六日赤十字デーには小名濱小學校少年赤十字團は神社奉仕並に市街美化運動と清淨に大衆を誘導する仕構をなす、尚ほ當日は校内ポスター展覽會を開き一般に公開する

大波小波

江名の兒が平町に迷となる時代相が迷子に途現る。

× × ×

平小線經由路線問題論議するに他がきた、ドッチでも好い早く發表しろ

× × ×

入山炭礦過般の犧牲者には弓懸金平均二千二百圓と記憶する今度の鐵道犧牲者の弔慰金五百圓は自分が大きいと思ふて人を喰つてる。

× × ×

公正な國民の一員として鐵道者並に内田鐵相の反省を促す

× × ×

湯本溫泉の復活、金で出來る事なれば借金してもやれ小名濱商港の完成と相俟て後方樂園の條件より見ても

× × ×

濱は大漁で花街は淋し、ものゝ成る月は成るの日にあらずして云々の古言の通りまア氣永に待つさアー

濱だより
小名濱魚市場調査

魚名	魚獲高	單價
鰯	一萬箱	一、三〇
		一、三五
平目	二十貫	一、八〇
		二、〇〇
タコ	三百二十貫	四〇
		五五
タボ	三百貫	三〇
		五〇
イビ	三十貫	一、八〇
		一、六〇
スズキ	十貫	一、六五
アラ	二十貫	一、九〇
		二、〇〇
赤魚	三百五十貫	六〇
		七〇
カンコ繩船		四
アダリ船		十四
底曳船		十四
其他		

◇天氣豫報◇

今晩　南風薄曇ヨリ本曇リ
明日　北風曇リ少雨
氣壓＝七百六十九粍四

藥……衛生材料
寶屋藥舖
小名濱町古港
電話三九番

東北港灣振興座談會
速記錄

小名濱港　（三十七）

（三十三番の續き）

のが、小名濱港完成後は之が船で行くことになる譯であります、斯う數へて見れば後方地域に於ける產業として、當地方より出る物が或ひは考へて居るより少いではないかと思ふのであります、或は其の外に他より這入つて來る物がありますが、御承知の如く後方地域に於ける一帶の狀態は、彼の名古屋、大阪と云ふ大消費地が無いのでありますから、此の附近は平町が一番人口を有して居ると云ふ事であります、それでありますから今後に於ては、どうしても磐越線をあゝ云ふ現在の狀態でなく、或は電化にするとか、或はもう少しそれ以上彼の磐越線の擴張をして交通運輸量を多くする事が、最も港灣の利用に付て必要であると私共は考へて居ります甚だ取留めのない話でありますが、今後々方地域に於ける產業の現狀と云ふものが單り地方ばかりでは大なる希望はかけられないではないかと、斯う考へて居ります、それで此の附近の炭城縣の築港が何れも成功して居らぬのでありますが、此の方面からも無論御調査になつて居られると思ひますが、其の方面の方々も一緒になつて此の座談會を催すならば、將來利益があるではないかと思ひます、以上申上げた樣な譯でありまして、具体的に申上げられないのを遺憾と致しますが、考へて居る一端だけを申上げた次第であります

◉座長（追靜吾君）　商業學校の校長さん…

◉三十二番（矢野泰次郎君）　特に申上げる事はありませぬが、港灣の利用增進に付て現在の產業狀況は申す迄もありませぬが、新しい產業に於きまして其の製品の原價の構成要素と地方の實情との關係を考慮すれば、適當な產業が此の地方に出來るのではないかと云ふ事を考へて居るのであります、それ以外の事に付ては最前から皆さんの御意見で盡きで居る樣であります

移轉御披露

幣店儀登記所前より古港水產會社向ふに移轉開業致しました就而倍して御引立を一皆樣の店として一重に御願致します

◆みやこ染々料特約販賣店
シーズン用品在庫豐富
良い品を安く賣る店
配達迅速は當店の特色です

エビスヤ藥店
水產會社向　小名濱町古港

諸橋外科醫院
電四四六
平町新川町
內臟外科
レントゲン科
皮徽科
醫學博士　諸橋鐵彌
醫學士　奧義弘

營業品目
コールタール　染料各種
防腐劑　衞生材料
寫眞材料　漆喰材料
計量器　消毒材料
エナメル　食料品
灰化粧品　滋養品
石

東京銀座・資生堂チエンストアー
小名濱町中島
資生堂藥舖
電話一四七番

銘酒以上の……
理研酒
雪醉『』　壹升壹圓
すま願飮試御共少多
販賣店　小名濱町中町　加藤屋商店

平田町の
松の壽し
より皆樣！
御二人連ならシンミリト御座敷で
氣の合つた御友達とは食堂で
氣のキイタ女給さんも
御待申して居ます

御待兼ねの
趣味の洋食と小料理
御酒乃家
大盃
小名濱町上橫町
十一月三日
開店致しました
試食としての御定食
御酒一本おトーシ付
趣味の洋食二品
六十錢

合森
齒科醫院
植田町

內科
小兒科
外科
花柳病科
平川醫院
江名町　電話二六番

吳服類は……
樋口吳服店
小名濱町中島通り

磐城共濟病院
福島縣平町　電話六四一番
內科　院長　醫學博士　石山謙郎
小兒科　部長岩手醫學士　佐藤尙輔　電話六四一番
外科　耳鼻咽喉科　部長醫學士　大町久藏
產婦人科　部長醫學士　黑澤廣
皮膚泌尿科　部長醫學士　前澤正
花柳病科　電話二七二番
X線療科　醫學博士　石山謙郎
藥局　藥局長藥劑師　吉本孝平
事務長　鈴木寶雄
每日午前八時ヨリ診療
夜間診療開始（每夜午後十時迄）
病室完備。入院隨意